農園通信

新しい学生が訪れ、作付けを畑が待っています。 今年はどんな風に手をかけてもらえるのだろうかと、 今は静まり返って時を刻んでいます。

まもなくI40名余の学生が農園に賑やかさとと もに訪れ、汗を流します。





イソヒヨドリ。名のとおり日本では磯や 港に生息する鳥だそうです。しかし、近年、 内陸部でも見られ、都市部や住宅街できるい のきれいな鳴き声を聞くことができるよう です。昨年来、度々、農園でも見かけい す。のました。そして、最近はつがい 畑の周り飛び交い、餌を啄ばみ、電柱や 根の上でとても響く声で囀っています。

オスはきれいな青色をしているので幸せ の青い鳥ともいわれるようです。

こちらはおなじみのヒヨドリ。

ローズマリーの花が開き始めると枝にとまり啄んでいます。 啄むのはローズマリーだけでなく、ビオラなどへも盛んにく ちばしを伸ばし、花びらを引きちぎっていました。

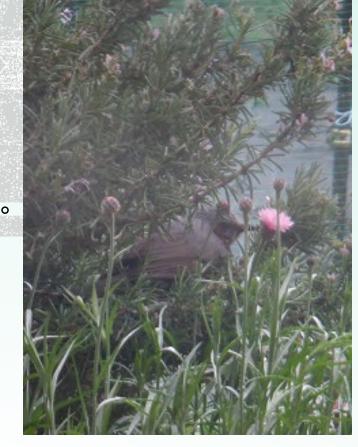


花や芽生えなどを見つけ ては、飛んで来て啄みます。



今まではなかったのですが、この春、流し台の手洗い用の 固形石鹸が持ち去られました。おそらく、カラスの仕業かと。 まだ、餌が少なく、固形石鹸は油分を原料に含むため持って いって、食べるようです。ネットに入れておいても持ってい くことは承知していたのですが油断していました。

また、畑を耕起していると手を伸ばせば届くような近くまで来ます。目当ては土から出てくる虫。こんな近くで見ることは稀なことです。





大麦が出穂して緑鮮やかです。 学生の喉を潤す麦茶になります。